

# SUZUKID®

— 溶接シーンに新しいスパークを —

— 取扱説明書 —

メタルバンドソー



エッジホッパー ピッコロ

型式：EHP-01



- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

## スター電器製造株式会社

STAR ELECTRIC MANUFACTURING CO.,LTD.



製品ページは  
コチラ

- 警告・注意の意味  
..... 1
- 安全上のご注意  
..... 1～4
- 仕様 ..... 5
- 本機の特徴  
..... 5
- ご使用前に  
..... 6
- 標準付属品・各部の名称  
..... 7～8

ご使用の前に

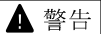

- 各部の調整と組立  
..... 9～13
- 使用方法  
..... 14～17
- メンテナンス・消耗品・  
交換部品 ..... 17～18


作業にあたり

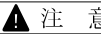
- 故障かな？と思った  
とき ..... 19～20
- アフターサービスに  
ついて  
..... 21
- 保証書  
..... 22
- 修理依頼ご記入欄  
..... 23

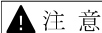
お知らせ

## ● 警告・注意の意味について

ご使用の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重症を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。

 注意 誤った取り扱いをした時に、使用者が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される危害・損害の程度。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### バンドソー 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書の全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。これらを守らずに使用しますと、死亡または重症などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。この取扱説明書および安全に関する内容を守らなかったために発生した事故や損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- お読みになった後は、使用者がいつでも見ることのできる場所に必ず保管してください。

## 警告

### 1. 作業場所の安全性を保ってください。

- ・作業場所の安全性、作業場を清潔に保ち、十分な照明を確保してください。雑然とした場所や視界が悪い場所は事故が発生しやすい原因となります。

### 2. 作業場所の周囲状況も考慮してください。

- ・湿気は感電事故のもとになります。雨中、濡れた場所、湿った場所、機器内部に水や油の入りやすい場所では、使用しないでください。
- ・可燃性の液体やガスの近くでは作業しないでください。爆発する恐れがあります。

### 3. 感電事故の防止を！

- ・電源コードに絶縁機能低下がないように注意してください。
- ・湿気は感電事故のもとになります。
- ・帯のこ刃の交換作業時は常に乾いた手袋を使用してください。破れたり、濡れた手袋を使用しないでください。

### 4. 作業場所に子供を近づけないでください。

- ・使用者以外、本機に触れないでください。
- ・使用者以外、周囲に人を近づけないでください。
- ・必ず大人が作業、使用してください。

## 警告

### 5. 使用しない場合、適切な場所へ保管してください。

- ・乾燥した場所、子供の手の届かない場所、または鍵のかかる場所へ保管してください。
- ・雨中、濡れた場所、湿った場所、機器内部に水や油の入りやすい場所、直射日光の当たる場所は避けてください。

### 6. 過度な使用はしないでください。

- ・切断機の能力に合った速さで作業してください。
- ・モータをロックさせるような使い方はしないでください。

### 7. 弊社指定の帯のこ刃を使用してください。

- ・取扱説明書に記載されている以外のものは使用しないでください。

### 8. 作業に適した服装で使用してください。

- ・手袋、だぶだぶの衣服、ネックレス、ネクタイ、マフラーなどの装身具は回転部に巻き込まれてけがをする恐れがあるため、着用は止めてください。
- ・帯のこ刃の交換時には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、保護手袋を着用して交換作業をしてください。
- ・滑り止めの付いた安全靴等の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、ヘルメットや帽子、ヘアカバーなどで覆って巻き込まれないようにしてください。

### 9. 保護具を使用してください。

- ・作業時は、切断した粉じんから目を守るため必ず保護メガネを使用してください。
- ・粉じんの多い作業では、有効な呼吸用保護具を使用してください。また騒音の大きな作業では、耳栓などの防音用の保護具を使用してください。

### 10. 電源コードの扱いに注意してください。

- ・電源コードを持って運搬したり、電源コードを引っ張ってコンセントからプラグを抜かないでください。電源コードを熱や油、鋭利な場所に近づけないでください。電源コードの上に重量物を載せたりしないでください。電源コードに無理な力をかけないでください。
- ・電源コードが間違えて切断されないように、電源コードの取り回し位置に注意してください。

### 11. 切断物はしっかりと固定してください。

- ・切断物はバイスや万力でしっかりと固定してください。

### 12. 無理な姿勢で作業しないでください。

- ・常に足元をしっかりとらせて、バランスを保った状態で作業してください。

### 13. 日頃から注意深く手入れしてください。

- ・部品の交換は本取扱説明書に従ってください。
- ・電源コードや延長コードは、定期的に絶縁不良がないか点検してください。
- ・損傷している場合は、新しいものと交換してください。
- ・握り部分は、常に乾いた状態で清潔に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。
- ・何か少しでも異常な箇所がある場合は、使用しないでください。

### 14. 次の場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・使用しない場合、帯のこ刃や部品の交換、修理する場合。
- ・その他、危険が予測される場合。
- ・本機を移動させる場合。


## 警告

15. 電源コードを延長する場合は適切な延長コードを使用してください。
  - ・断面積 2.0 mm<sup>2</sup> (2.0sq) 以上あるコードを使用し、10m以上は延長しないでください。
16. 取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分に注意して慎重に作業してください。
17. 疲れているとき、アルコールを飲んでいたり、薬をのんでいるとき、体調がすぐれないときなど、作業に集中できないときは使用しないでください。
18. 使用前に損傷した部品がないか点検してください。
  - ・保護カバーや帯のこ刃が正しく取り付けられているか確認してから使用してください。
  - ・トリガスイッチの故障、その他の故障や異常な箇所がある場合は使用しないで、お買い求めの販売店、もしくはお近くの弊社営業所、弊社アフターサービスまで修理を依頼してください。
19. 本機の修理は、お買い求めの販売店や弊社アフターサービス課に依頼してください。
  - ・分解や改造はしないでください。
20. 指定された用途以外には使用しないでください。
  - ・誤った使用方法是事故やけがの原因になり、大変危険です。
21. 正しい電源電圧 (AC100V) に接続してください。
  - ・取扱説明書や本機の銘板に表示してある定格電圧以外の電圧で使用しないでください。
22. 保護カバーは、必ず閉じた状態で使用してください。
  - ・保護カバーが開いた状態で使用すると衣服などが巻き込まれ、事故の原因になります。
  - ・保護カバーを閉じた状態でも、駆動部が露出していますので十分に注意してください。
23. 本機を誤って落としたり、ぶつけたときは、帯のこ刃や保護カバーなどに破損や変形などの異常がないかよく点検してから使用してください。
24. 使用中に回転している帯のこ刃、バイス、切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
25. 使用中に機器の調子が悪かったり、異常な音や振動、異臭等がある場合、直ちに使用を止めて、お買い求めの販売店や弊社アフターサービス課に点検・修理を依頼してください
26. 意図したとおりに使用しても危険因子を完全に排除することはできません。下記のリスクについても十分に注意してください。
  - ・トリガスイッチを放しても帯のこ刃が完全にとまるまで2～3秒かかりますので注意してください。
  - ・保護カバーのない切断領域での危険性に注意してください。
  - ・帯のこ刃交換時におけるケガの危険性に注意してください。
  - ・切断材料または、切断材料の一部が飛び出す、落下することによる危険性に注意してください。
  - ・指をはさむことや、部品などの落下による危険性に注意してください。
  - ・キックバック (切断するものに刃が詰まって動かなくなった時や切断時にかかる力などの反動で、バンドソー本体や材料が使用者側に跳ね飛ばされること) や、無理な力がかかって帯のこ刃が折れて飛ぶことなどによる危険性に注意してください。

## 注意

1. 本機は平坦で振動の少ない場所で使用してください。
  - ・傾いた不安定な場所で作業すると事故やけがの原因になります。
2. 切断材料は、バイスや万力でしっかりと固定してください。
  - ・固定が不十分だと本機の破損だけでなく、事故の原因になります。また切断精度が悪くなります。
3. 使用中は巻き込まれる恐れのある手袋などは着用しないでください。
4. 作業前に周囲の安全を確認してから試運転し、異常な音や振動がないことを確認してください。
5. 切断材料に帯のこ刃を急激に落下させないでください。帯のこ刃が破損して、ケガや故障の原因になります。
6. 使用中に回転する帯のこ刃で電源コードを切断しないようにしてください。
  - ・故障や、感電する危険があります。
7. 切断直後の帯のこ刃、切断材料、切り屑などは高温になっているため、触らないようにしてください。
  - ・やけどの原因になります。
8. 帯のこ刃を回転させたままの状態では放置しないでください。
  - ・正常な使い方では回転させたままの放置はできない仕様となっています。トリガスイッチを放した状態でも帯のこ刃が回転したままの場合は故障の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、電源から外してください。  
(トリガスイッチを放しても帯のこ刃が完全に停止するまで2～3秒かかります)
9. 本機の自重程度の力で切断をしてください。無理に力を加えると帯のこ刃が破損してケガや故障の原因になります。
10. 高所で作業するときは、下に人がいないことを確認してください。電源コードを引っかけたりしないでください。材料や本機を落として事故の原因になります。
11. 本体に防錆油が付着している場合がございます。ご使用する前に付着している防錆油をよく拭き取ってから切断作業をしてください。
12. 極端に低温や高温の環境下では十分な能力が得られない場合があります。
13. 建築作業など、精度が必要な作業には使用しないでください。

## ● 仕様

品名	エッジホッパー ピッコロ
型式	EHP-01
定格電圧	AC100V
定格入力	600W
定格周波数	50Hz/60Hz
周速	68m/min ~ 116m/min
本機寸法 (幅×奥行×高さ)	台座式時 530 mm × 290 mm × 435 mm
質量	台座式時：13.6 kg / 手持式時：7.0 kg
切断可能材料	鉄・アルミニウム・真鍮・ ステンレス鋼・銅
台座式時 最大切断寸法 (0°)	丸パイプ：φ80 / 角パイプ：幅 80× 高さ 80 mm
台座式時 最大切断寸法 (45°)	丸パイプ：φ40 / 角パイプ：幅 40× 高さ 80 mm
手持式時 最大切断寸法	丸パイプ：φ120 / 角パイプ：幅 120× 高さ 120 mm
最大切断可能板厚	20mm
帯のこ刃仕様 (長さ×刃幅×刃厚 山数 材質)	寸法：1141×13×0.65 山数：10/14 材質：コバルトハイス (替刃 品名：エッジホッパーピッコロ替刃 3本入り) 型式：P-830 ※帯のこ刃の替刃は弊社純正品を使用してください。
 二重絶縁	二重絶縁構造とは、感電に対する保護をするために二重絶縁（基礎絶縁及び付加絶縁の両方から成る絶縁）又は強化絶縁（電氣的及び機械的性能が、二重絶縁と同等以上に強化された絶縁）を施した構造のもの。

## ● 本機の特徴

- ・ 入力電圧 100Vの小型タイプ
- ・ 切断領域の視認性が向上する LED ライト付き
- ・ 0° ~ 45° の角度切が可能（台座式時）
- ・ 台座に固定する台座式、台座に固定しない手持式の 2in1 での使用が可能
- ・ 金属を切断する際の火花が発生しにくく、切断時の音の大きさが他の種類の切断機と比較して小さい（一般的なバンドソーの特徴）

## ● ご使用の前に

1. 必ず取扱説明書の全てをよく読み理解してから、警告及び注意事項を厳守し、取扱方法に従って使用してください。

本製品は取扱いを誤ると死亡、重大人身事故を引き起こす場合があります。また、故障の原因にもなります。

2. 各部の調整や組立、帯のこ刃の交換、運搬等は必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。

3. 電源電圧を確認してください。

必ず銘板に表示してある電圧（AC100V）でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、モータの回転数が異常に速くなったり、モータの制御装置が破損する恐れがあります。また、直流電源、エンジン発電機を使用しないでください。製品が故障するだけでなく、事故の原因にもなります。

4. トリガスイッチ部を確認してください。

トリガスイッチ及び、ロック解除ボタンに異常がないか確認してください。異常がある状態で電源プラグをコンセントに接続しますと意図せずに帯のこ刃が動作する場合があります大変危険です。

本機はトリガスイッチを放すと回転が停止する仕様となっています。トリガスイッチを放しても回転が停止しない場合は、故障の可能性がありますので直ちに使用を止めて電源プラグをコンセントから抜いてください。尚、トリガスイッチを放した直後は、帯のこ刃が完全に停止するまで2～3秒ほどかかりますので注意してください。

5. 帯のこ刃の取り付け状態と、刃の状態を確認してください。

帯のこ刃の取り付け状態の確認、取り付け、取り外しについてはP.9～11を参照してください。

帯のこ刃に刃欠け、ヒビなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると帯のこ刃が破損し、ケガや故障の原因になります。

帯のこ刃は、弊社指定品を使用してください。（P.18 参照）

6. 保護カバーの取り付け状態を確認してください。

保護カバーは正しく取り付けられているか、保護カバーの取付けネジ（2本）が緩んでいないことを確認してください。正しく取り付けられていないと帯のこ刃が破損したり、外れたりした際、ケガの原因となり大変危険です。保護カバーが取り付けられている状態でも刃や駆動部の一部が露出していますので十分にご注意ください。

7. 組立状態が正しいか確認してください。

バンドソー本体を台座に取り付けて使用する場合、サポートアームとの取り付けにガタ付きや本体固定ネジのゆるみ等がないかを確認してください。サポートアームの動きをロックしているロックピンが正常に作動するかを確認してください。本体固定ネジが緩んだ状態や、ロックピンの動きが正常でない状態で使用しますと思わぬ重大な事故やケガ、故障の原因となります。

## ● 標準付属品、各部の名称

### <標準付属品>



取扱説明書  
(保証書付き)



本体固定ネジ 3本  
(M6 六角穴 (対辺5mm) 付)



帯のこ刃 1本  
(サンプル)



アーム台取付ボルト 1本  
(M6 六角穴 (対辺5mm) 付)

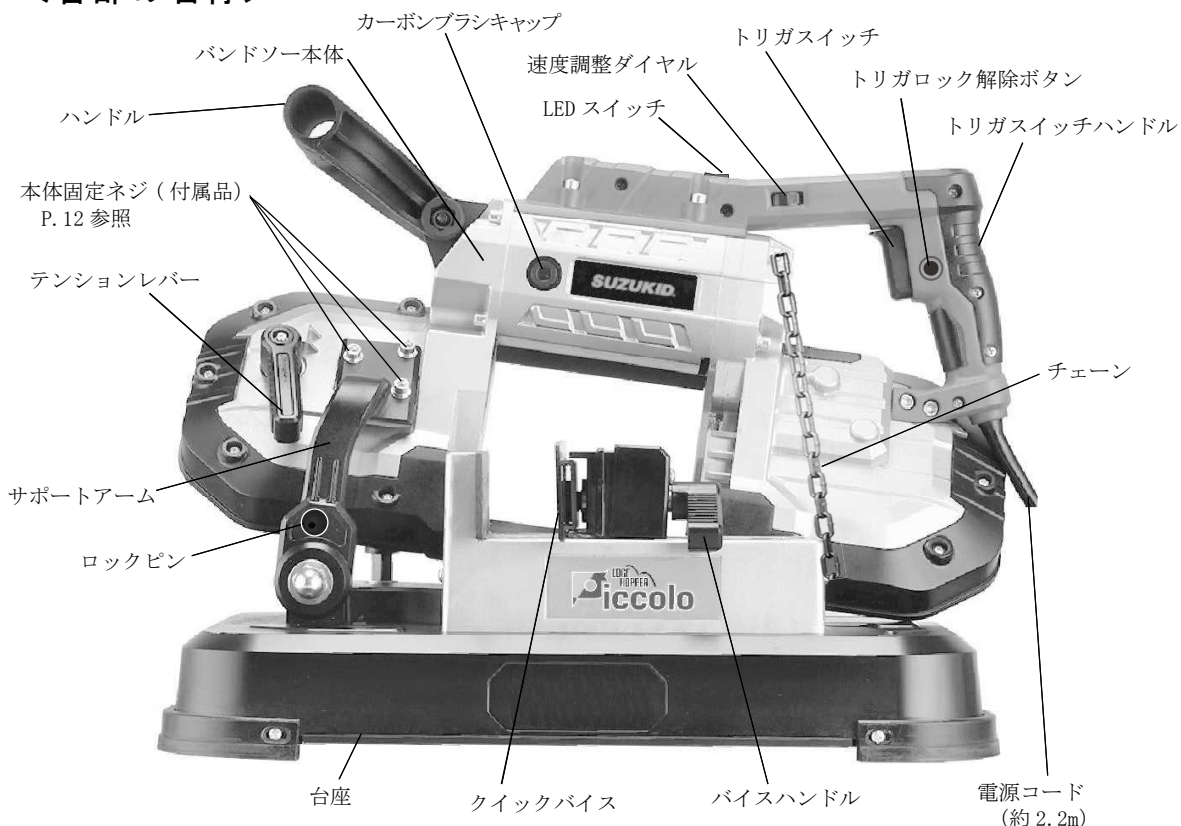


アーム台取付ナットM6 1個



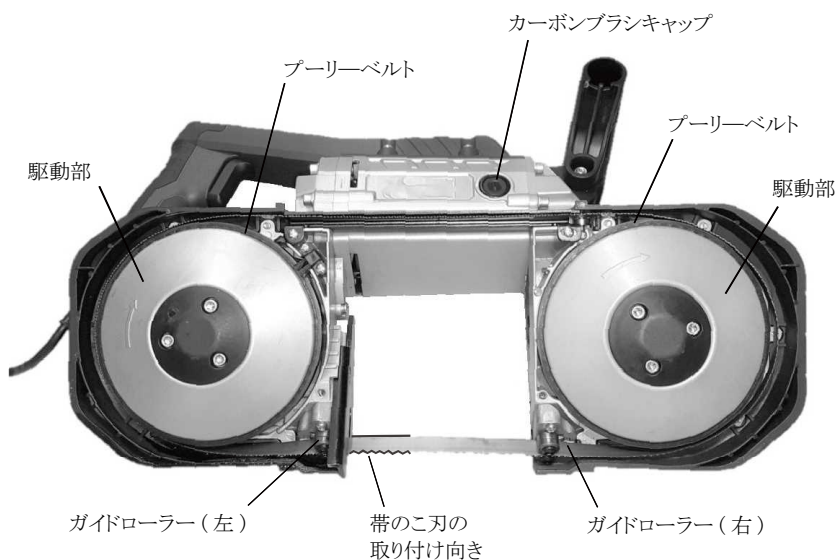
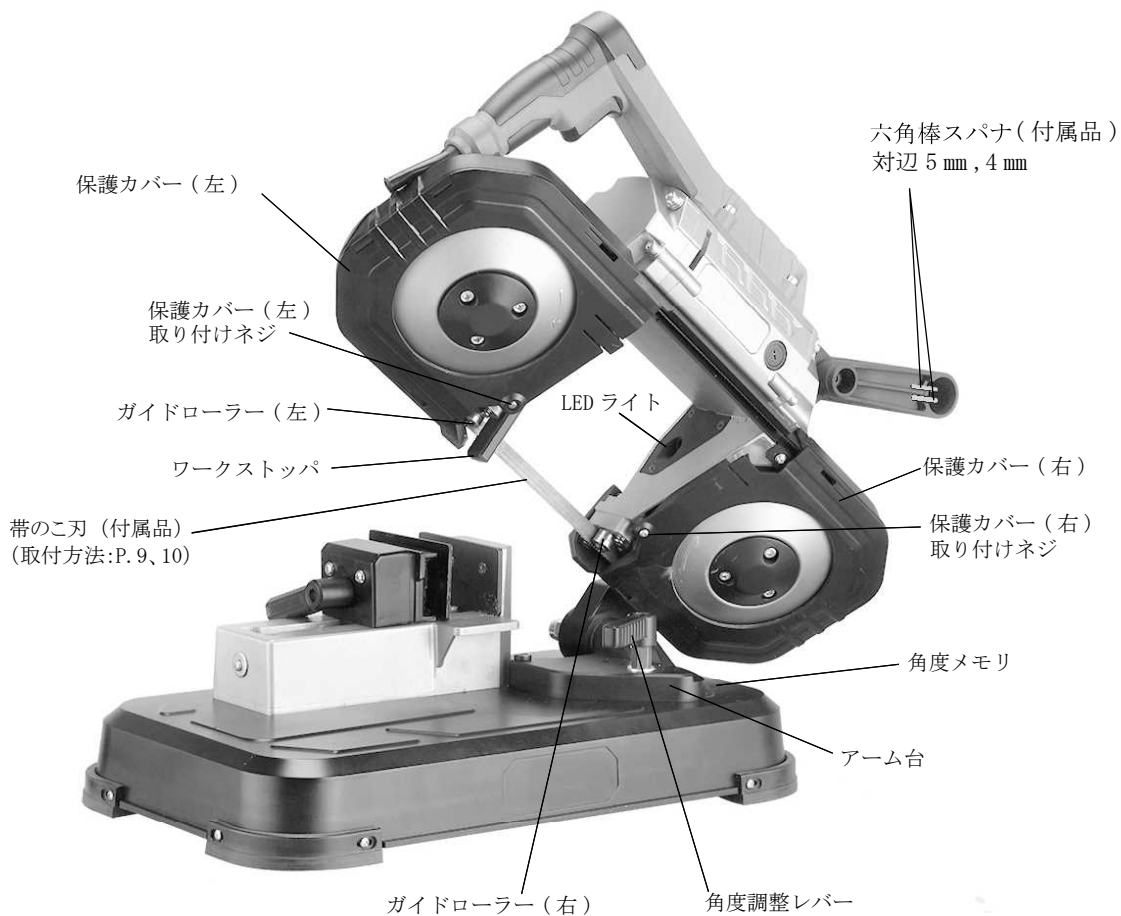
六角棒スパナ  
対辺5mm, 4mm  
(本体ハンドル部に収納)

### <各部の名称>



### バンドソー本体と台座を組み立てた状態 (台座式)





**バンドソー本体の保護カバーを外した状態**

## ● 各部の調整と組立

### 警告

・ 重大な事故やケガの原因となる可能性がありますので、各部の調整及び組立、帯のこ刃の取付、交換（試運転時を除く）、運搬時には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ 帯のこ刃への接触による事故やケガ等に、十分ご注意ください。
- ・ 部品落下や指はさみなど、意図しない危険性に十分ご注意ください。

### 注意

- ・ 摩耗や変形している帯のこ刃は使用しないでください。破断したりキックバックの原因となり事故やケガ、故障が発生する恐れがあります。
- ・ 帯のこ刃に潤滑剤などの油を塗布しないでください。帯のこ刃のはずれや、スリップの原因となり危険です。
- ・ 使用直後の帯のこ刃、材料、切り屑等は大変熱くなっています。火傷の原因となりますので、十分に冷めるまで触れないでください。

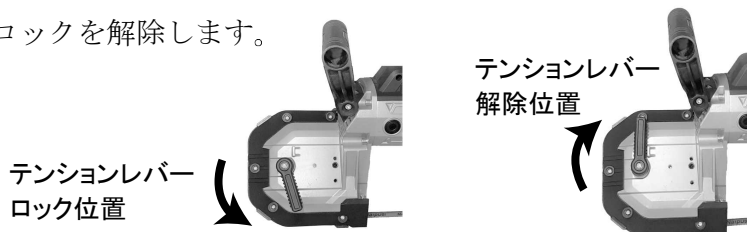
### <帯のこ刃について>

- ・ ご購入時、バンドソー本体にサンプルの帯のこ刃は取り付けられていません。  
**帯のこ刃の取り付け方法** を参照し、取り付けてください。
- ・ 帯のこ刃は真っ直ぐの1本刃の両端を繋ぎ合わせて作られている為、繋ぎ目が見えたり多少の段差があります。ご了承ください。
- ・ 帯のこ刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら替刃への交換時期です。替刃はP.18に記載の弊社純正品を使用してください。
- ・ サンプルの帯のこ刃、及び新しい帯のこ刃（替刃）を使用する前には、試運転とならし運転（速度調整ダイヤルを最低速度“1”にて2～3mmの鋼材を試し切りする）を行ってください。慣らし運転をしないで厚手の切断材料を切断したり速度調整ダイヤルを速くした状態で切断をしますと帯のこ刃が欠けてしまい耐久性が著しく損なわれる恐れや、刃の破断による故障、ケガや事故の原因となります。

### **帯のこ刃の取り付け方法**

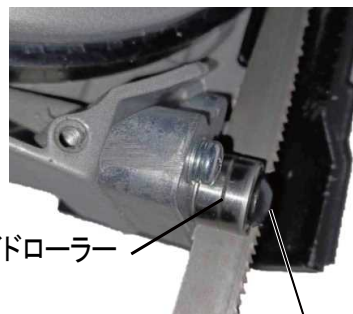
- 1) 帯のこ刃の取り付け作業は試運転時以外は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用してください。帯のこ刃は、梱包から解く際に帯のこ刃の飛び出しや、刃先でのケガに十分注意してください。
- 2) ガイドローラー、駆動部、プーリーベルトを確認し切り屑や鉄粉を除去します。プーリーベルトに過度な緩みや損傷がないかも確認してください。帯のこ刃から保護材を外し、余分な油や鉄粉等を拭き取っておきます。

3) テンションレバーのロックを解除します。



4) 左右の保護カバーの取り付けネジを外し、カバーを取り外します。

5) 帯のこ刃の取り付け向きに注意してガイドローラー側から取り付けていきます。ガイドローラーの奥まで差し込んで（右図参照）から、左右の駆動部のプリーベルト上へ差し込んでいきます。帯のこ刃の刃先でケガをしないように十分ご注意ください。



※ガイドローラーがきつくて帯のこ刃が奥まで入らない、又は差し込めない場合は、付属の六角棒スパナ（対辺4mm）を使用して、ガイドローラーの六角穴ネジを左回しに回し、少しゆるめしてから帯のこ刃を差し込んでください。



6) 帯のこ刃の全周を差し込んだ状態で、テンションレバーをロック位置まで回して帯のこ刃のテンションをロックします。（ロックしない状態で電源プラグをコンセントに接続し帯のこ刃を回転させた場合、帯のこ刃の外れ、故障、事故やケガの原因となりますので必ずロックしてください。）

7) 上記5)※でガイドローラーの六角穴ネジをゆるめた場合は、必ず六角穴ネジをしっかり締め直してください。

8) 左右の保護カバーを取り付けて、取り付けネジで固定します。

9) 保護カバーが取り付けられた状態で、電源プラグをコンセントに接続します。スピード調整ダイヤルでスピードを1（最低速度）に設定します。トリガロック解除ボタンを押しながらトリガスイッチを握り、帯のこ刃が2～3周回るまでバンドソー本体を試運転させます。帯のこ刃がガイドローラーの奥まで入りこんでいることを確認してください。※試運転時に、保護手袋は着用しないでください（巻き込まれ防止の為）。帯のこ刃に触れてケガをしないよう十分に注意してください。

10) 電源プラグをコンセントから抜いて、保護メガネ、保護手袋等を着用してから再度保護カバー（右/左）を取り外します。テンションレバーはロック位置のままの状態帯のこ刃がプリーベルト部とガイドローラーに正しく装着されていることを確認してください。

11) 保護カバーを取り付けて、取り付けネジで締め付けます。

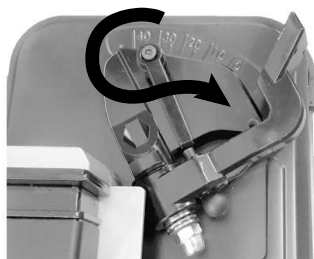
※帯のこ刃は、ならし運転後に使用してください。（P.9 参照）

## 帯のこ刃の取り外し方法

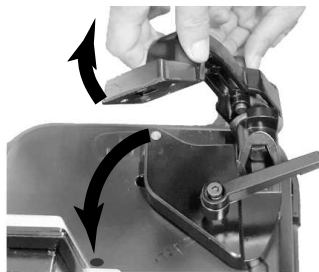
- 1) 切断作業直後の帯のこ刃は大変熱くなっています。十分に冷めてから取り外し作業をしてください。必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。取り外し作業の際に帯のこ刃が飛び出すことがありますので、なるべく距離をとり保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用し十分注意のうえ作業してください。
- 2) テンションレバーのロックを解除位置まで回して解除します。
- 3) 保護カバー（右 / 左） 取付ネジをプラスドライバーで緩め、保護カバーを外します。帯のこ刃の状態（破断、プーリーやローラーから外れている等）によっては保護カバーを外した際に帯のこ刃が飛び出すことがありますのでご注意ください。
- 4) 帯のこ刃は駆動部と駆動部間の上側から外しはじめ、駆動部の周囲を外していき、ガイドローラー側へと、取り外していきます。

## 台座式組立

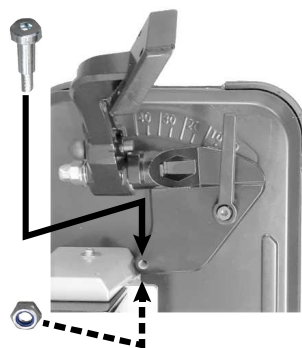
- 1) アーム台を台座に固定します。



①アーム台を回転させながら矢印方向へ動かします。



②ロックピンを引きサポートアームを起こします。アーム台の穴と台座の穴を合わせます。



③付属品のアーム台取付ボルトとナットで、付属品の六角棒スパナ（対辺5mm）を使用し締め付けます。

- 2) P. 7 の図を参考に、台座のサポートアームにバンドソー本体を合わせ、付属品の本体固定ネジ 3 本で締め付けます。本体固定ネジの締め付けにはハンドル部に格納されている六角棒スパナ（対辺5mm）をご使用ください。ゆるみ、ガタ付きが無いように、3本のネジで必ずしっかりと締め付けてください。
- 3) サポートアームはロックピンを引くことにより可動できます。
- 4) バンドソー本体を台座から外す際は上記の逆の順に取り外してください。  
※バンドソー本体は台座に取り付けない状態（手持式）でも使用できます。手持式で使用する際は、P. 16～P. 17を参照してください。

※台座とバンドソー本体が組んである状態（台座式）での運搬時は、ロックピンを引きバンドソー本体を倒した状態（P.7）にし、台座とバンドソー本体がガタつかない長さにチェーンで繋いでからハンドルとトリガスイッチハンドルを持って運搬してください。チェーンで固定せずに運搬すると落下によるケガや故障、サポートアームが変形するなどの原因になります。運搬時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

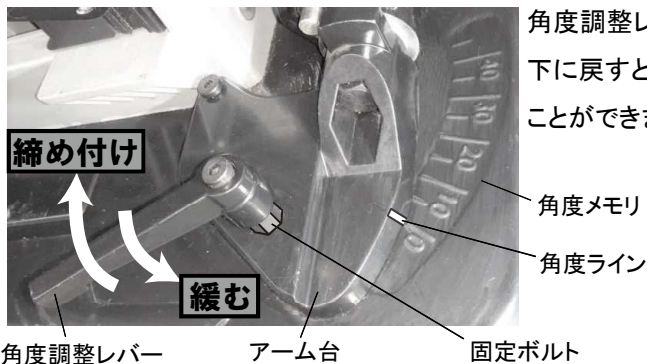
帯のこ刃、台座式組立の  
参考動画（QRコード）はこちら

<http://suzukid.co.jp/bandsaw-movie/ehp-01setupmovie.mp4>



## 切断角度の調整

バンドソー本体を台座に取り付けて切断する場合、 $0^{\circ}$  から  $45^{\circ}$  までの切断角度が調整可能です。角度調整レバーで固定ボルトを緩め、アーム台の角度ラインと台座の角度メモリを合わせます。合わせた後は必ず角度調整レバーで固定ボルトを締め付けてアーム台を固定してください。角度調整レバーは切断領域やバンドソー本体に当たらない位置に配置してください。（角度メモリは目安の角度です。精度の必要な建築作業などには使用しないでください。）

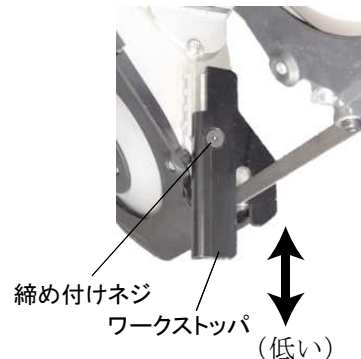


角度調整レバーは引き上げると固定ボルトを放し、下に戻すと掴み、**緩む** ← **締め付け** を操作することができます。

角度調整の際は、アーム台を浮かせ気味にして角度を合わせてください。アーム台と台座と擦れると、台座にキズができる原因となります。

## ワークストップの調整

通常はワークストップを最も低い位置にして固定してください。切断物が最後まで切断できない場合は、ハンドル部に格納されている六角棒スパナ（対辺4mm）を使用し締め付けネジを緩めてワークストップの位置を調整してください。調整後は必ずネジを締め付けてワークストップをしっかりと固定してください。

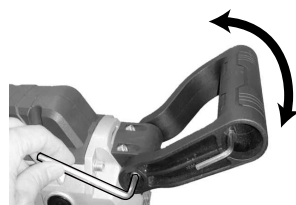


## LED ライトの点灯方法

LED スイッチをオン『I』にすると LED ライトが点灯し切断領域を照らします。オフ『O』にすると消灯します。作業後は LED スイッチをオフにしてください。LED ライトが汚れた場合は乾いた柔らかい布で LED ライトにキズが付かないように気を付けて拭き取ってください。キズがつきますと光量が著しく低下しますのでご注意ください。拭き取りにシンナーや化学溶剤は使用しないでください。

## ハンドルの調整

ハンドル部に格納されている六角棒スパナ（対辺 5 mm）を使用し、ハンドル根元にあるネジを緩めます。ハンドルを任意の角度にしてネジを締め、必ずしっかりと固定してください。



## 速度調整ダイヤルの調整

帯のこ刃の周速設定は速度調整ダイヤルで調整します。切断材料の材質や厚さに合わせて設定します。速度調整ダイヤルの数値が『1』に近づくほど周速は遅くなり、『6』に近づくほど速くなります。切断材料が硬かったり、厚かったりするほどダイヤルを『1』に近づけてください。下記表を目安として調整してください。

速度調整の目安

		速度調整ダイヤル					
材料	厚さ	1	2	3	4	5	6
軟鋼	～ 3mm						●
	3mm ～ 6mm					●	●
	6mm ～ 20mm			●	●		
ステンレス	～ 3mm	●	●				
	3mm ～ 6mm	●					
	6mm ～ 20mm	●					

### ⚠ 注意

- ・バンドソーの故障や帯のこ刃の破損の原因となりますので、切断中に速度調整ダイヤルの周速設定を絶対に変更しないでください。
- ・バンドソーの故障の原因となりますので、無理に速度調整ダイヤルを 1 以下へ、6 以上の方向へ回さないでください。
- ・付属品の帯のこ刃、及び新しい帯のこ刃（替刃）を使用する前のならし運転と試運転時は、速度調整ダイヤル『1』で行なってください。

## ● 使用方法

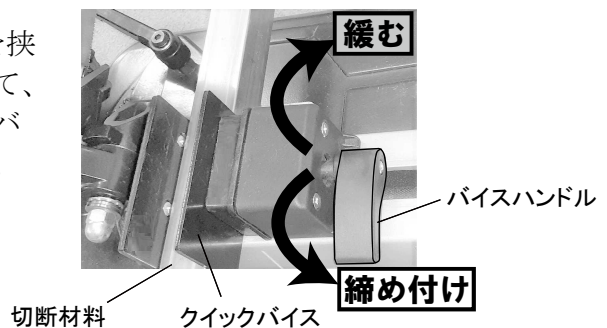
### ⚠ 警告

ご使用前に取扱説明書の全てを熟読し十分理解したうえ、警告及び注意事項、取扱方法を必ず守ってください。これらを守らずに使用しますと、死亡または重症などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。

### 台座を使用した（台座式）切断方法

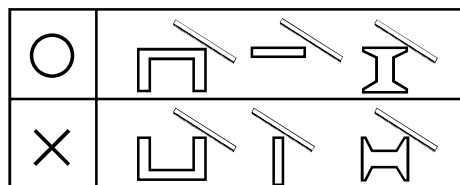
- 1) P.9～P.13の各部の調整と組立の項を参照し、帯のこ刃の調整と確認、各部の調整、台座とバンドソー本体の組立、切断前の試運転を行なってください。
- 2) 運搬用のチェーンを外し、ロックピンを引き、バンドソー本体をP.8の上図のように立ち上げます。ロックピンが戻るまで立ち上げると、立ち上がったままの状態にロックされます。確実にロックされていることを確認してください。

- 3) バイスハンドルを緩めて切断材料を挟みます。バイスハンドルで締め付けて、切断材料がブレないようにクイックバイスでしっかりと固定してください。



- 4) ロックピンを引きサポートアームのロックを解除した状態で、切断材料に対し帯のこ刃の刃が正しい角度であることを確認してください。  
※切断材料に対して刃が2山以上かかるように調整します。

切断材料の置き方の  
良い例・悪い例



- 5) 各調整作業、切断材料の固定後、バンドソー本体を立ち上げた状態でロックします。保護メガネを着用します。巻き込まれる恐れがありますので、保護手袋は着用しないでください。電源コードが間違っって切断されないように、コードの取り回し位置に注意してください。周囲の安全を確認後、電源プラグをコンセントに接続します。不意に動作しないように十分に注意してください。

- 6) バンドソー本体の帯のこ刃を回転させるには、トリガスイッチを握ると同時にトリガロック解除ボタンを同時に押します。その後はトリガロック解除ボタンを押し続ける必要はありません。トリガスイッチを握っている間は、帯のこ刃が回転しつづけます。
- 7) 帯のこ刃が所定の周速に達したら、サポートアームのロックピンを引き、バンドソー本体のロックを解除し、ゆっくりと下方に倒して切断材料にあてていくと切断ができます。バンドソー本体に力を加えないようにし、バンドソー本体の自重で切断するようにしてください。下記注意事項をはじめ、取扱説明書の各警告、注意事項を必ず守ってください。守らずに作業しますと機器の故障、帯のこ刃の破損や外れ、切断材料の飛び出し、重大な事故、ケガなどの原因となります。
- ・バンドソー本体に力を加えないようにし、バンドソー本体の自重で切断するようにしてください。
  - ・無理な力を加えたり、切断材料に対して急激に落下させないでください。
  - ・切断中はキックバック（切断するものに刃が詰まって動かなくなった時や切断時にかかる力などの反動で、バンドソー本体や材料が使用者側に跳ね飛ばされること）に十分注意してください。
  - ・帯のこ刃は、所定の周速に達した状態で切断材料にあててください。停止した状態で切断材料にあてて回転をスタートさせないでください。
  - ・切断材料に対して急激に帯のこ刃をあてないでください。
  - ・切断中に速度調整ダイヤルの周速設定を絶対に変更しないでください。
- 8) 切断が終了し回転を停止する時は、トリガスイッチを放します。トリガスイッチを放しても帯のこ刃が完全に停止するまで2～3秒かかりますので注意してください。トリガスイッチを放すと同時にトリガロック解除ボタンが作動し、トリガスイッチは再度ロックされます。切断直後の帯のこ刃、切断材料、切り屑等は非常に熱くなっていますので完全に冷めるまでは触れないように注意してください。
- 9) 切断中に帯のこ刃が止まってしまった場合は、直ちにトリガスイッチを放してください。そのまま切断作業を続けると機器の故障、帯のこ刃の破損や外れ、切断材料の飛び出し、ケガなどの原因となります。
- 10) ワークストップが台座にあたり、切断材料が最後まで切断できない場合は、ワークストップの位置を調整してください（P. 12 参照）。調整はかならず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。
- 11) バンドソー本体を立ち上げるとロックピンが作動しサポートアームの位置が開いた状態でロックされます。バンドソー本体が固定されていることを確認してからバイスを緩めて切断材料を取り除きます。
- 12) 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



## 台座を使用しない(手持式)切断方法

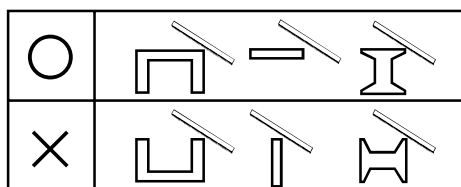
1) P. 9～P.13の各部の調整と組立の項を参照し、帯のこ刃の調整と確認、各部の調整、切断前の試運転を行なってください。台座は使用しません。

2) 切断材料を万力やクランプ装置などを用いてしっかりと固定します。

3) 保護メガネを着用します。巻き込まれる恐れがありますので、保護手袋は着用しないでください。電源コードが間違っても切断されないように、コードの取り回し位置に注意してください。周囲の安全を確認後、電源プラグをコンセントに接続します。不意に動作しないように十分に注意してください。

4) 両手でハンドルとトリガスイッチハンドルをしっかりと持ち、帯のこ刃が切断材料にあたらぬ位置で、切断材料にワークストップをあてます。又、切断材料に対し帯のこ刃の刃が正しい角度であたることも確認してください。

切断材料への帯のこ刃のあて方  
良い例・悪い例



5) バンドソー本体の帯のこ刃を回転させるには、トリガスイッチを握ると同時にトリガロック解除ボタンを同時に押します。その後はトリガロック解除ボタンを押し続ける必要はありません。トリガスイッチを握っている間は、帯のこ刃が回転しつづけます。

6) 帯のこ刃が所定の周速に達したら、ゆっくりと慎重に傾けていくと切断ができます。下記注意事項をはじめ、取扱説明書の各警告、注意事項を必ず守ってください。守らずに作業しますと機器の故障、帯のこ刃の破損や外れ、切断材料の飛び出し、重大な事故、ケガなどの原因となります。

- バンドソー本体に力を加えないようにし、バンドソー本体の自重で切断するようにしてください。
- 帯のこ刃がねじれるような力、無理な角度で切断しないでください。
- 切断中はキックバック（切断するものに刃が詰まって動かなくなった時や切断時にかかる力などの反動で、バンドソー本体や材料が使用者側に跳ね飛ばされること）に十分注意してください。
- 帯のこ刃は、所定の周速に達した状態で切断材料にあててください。停止した状態で切断材料にあてて回転をスタートさせないでください。
- 切断材料に対して急激に帯のこ刃をあてないでください。
- 切断中に速度調整ダイヤルの周速設定を絶対に変更しないでください。
- バンドソー本体を落下させないようにしっかりと握って操作してください。
- 切断材料の落下に十分注意してください。

7) 切断が終了し回転を停止する時は、トリガスイッチを放します。トリガスイッチを放しても帯のこ刃が完全に停止するまで2～3秒かかりますので注意してください。トリガスイッチを放すと同時にトリガロック解除ボタンが作動し、トリガスイッチは再度ロックされます。切断直後の帯のこ刃、切断材料、切り屑等は非常に熱くなっていますので完全に冷めるまでは触れないように注意してください。

8) 切断中に帯のこ刃が止まってしまった場合は、直ちにトリガスイッチを放してください。そのまま切断作業を続けると機器の故障、帯のこ刃の破損や外れ、切断材料の飛び出し、ケガなどの原因となります。

9) 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

---

## ● メンテナンス・消耗品・交換部品

---

### ■ 清掃・点検

- ・メンテナンスは必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で実施してください。
- ・メンテナンスの際は、帯のこ刃でケガをしない様に手袋等を着用してください。
- ・日常のお手入れは乾いた柔らかいブラシや柔らかい布で表面を拭き、帯びの刃についた余分な油や切り屑を拭き取ってください。拭き取りにシンナーや化学溶剤は使用しないでください。
- ・駆動部、ガイドローラーについての汚れや切り屑などは定期的に除去してください。
- ・各ネジに緩みがないか、組立状態にガタ付きがないか、運搬用のチェーンが痛んでいないか等をよく確認してください。
- ・ロックピンが正しく作動するかをよく確認してください。

### ■ 電源コードについて

- ・電源コードは定期的に点検し、破損等の問題が生じた場合は取扱説明書の裏面に記載の弊社アフターサービス、もしくはお近くの営業所までお問い合わせください。

### ■ 保管について

- ・必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾燥した場所、子供の手が届かない場所へ保管してください。直射日光が当たる場所や水や埃、油などの入りやすい場所は避けてください。
- ・最適な保管温度は5～30℃です。ホコリなどから保護するために、カバーをし、元の梱包箱で保管してください。
- ・長期間使用しない場合は、帯のこ刃を外す、またはテンションレバーを解除して保管してください。
- ・本取扱説明書と一緒に保管してください。

## ■消耗品

### <帯のこ刃の替刃について>

- ・帯のこ刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら替刃への交換時期です。帯のこ刃の替刃は下記の弊社純正品を使用してください。
- ・帯のこ刃の交換は、P. 9～P. 11をよく読み、各警告、注意事項を必ず守って交換してください。

品 名：エッジホッパーピッコロ替刃 3本入り  
型 式：P-830  
JAN コード：4991945 034402

<仕様> 寸法：長さ 1141 mm × 刃幅 13 mm × 刃厚 0.65 mm  
山数：10/14 材質：コバルトハイス

## ■交換部品について

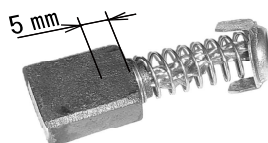
- ・下記、又はその他の交換部品については、P. 21 に記載の弊社アフターサービス、もしくはお近くの営業所までお問い合わせください。

### <プーリーベルト>

- ・プーリーベルトが摩耗してきますと、帯のこ刃がスリップしたり外れやすくなりケガの原因となります。また、プーリーベルトの破断による駆動部の故障などの原因にもなりますので、摩耗が激しい場合は交換が必要です。
- ・プーリーベルトの交換は、必ず左右同時に新しいものに交換してください。
- ・交換時は必ず電源プラグをコンセントから外し、帯のこ刃を外した状態で行なってください。
- ・プーリーベルトの組付けは、プーリーベルトの凹と駆動部側の凸を組み合わせるようにして、組み込みます。
- ・交換後は帯のこ刃を取り付けない状態にて最低速度で試運転を行ない、取付状態を確認してから使用するようしてください。

### <カーボンブラシ>

- ・はじめての使用から約 50 時間の運転後、又はバンドソー本体が突然回転しなくなった時などは、カーボンブラシを点検してください。カーボンブラシは 2 個使用しています。
- ・カーボンブラシキャップをマイナスドライバーで外し、カーボンブラシを取り出します。カーボン部が残り 5 mm 以下の状態になったら交換時期です。
- ・カーボンブラシの交換は、必ず左右同時に新しいものに交換してください。
- ・ケガや感電の原因となりますので、点検、交換時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・交換時にバンドソー本体内に異物が入り込まないように注意してください。駆動部の故障の原因となります。



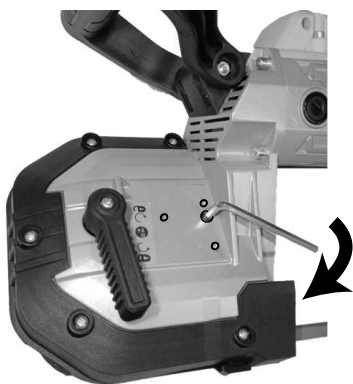
## ● 故障かな？と思ったとき

故障かな？と思ったとき修理を依頼される前に下記の点検をお願い致します。

項 目	原 因	対 処
駆動部が回転しない	トリガススイッチが握られていない	トリガススイッチを握ると同時にトリガススイッチ解除ボタンを同時に押す
	電源元のブレーカが OFF	電源元のブレーカを ON にする
	電源コードの断線	電源コードの交換が必要です。弊社へ問い合わせください。
	カーボンブラシの摩耗が激しい	カーボンブラシを点検し、必要に応じ交換する。(P.18 参照)
切断時の衝撃が大きい	帯のこ刃の変形	帯のこ刃を交換する (P.9 ~ 11 参照)
	回転中に帯のこ刃がぐらつく	テンションレバーがロック位置になっているか確認する
切断時の回転が弱い	帯のこ刃が正確に取り付けられていない	帯のこ刃の取り付け状態を点検する
	電源電圧が弱い(電圧降下をしている)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ電源でバンドソー以外のものを使用しない</li> <li>・ 延長コードは断面積が 2.0 mm<sup>2</sup> (2.0sq) 以上あるコードを使用し、10m以上は延長しない。又は使用しない</li> <li>・ 昇圧機を使用して電圧降下を改善する</li> </ul>
台座に組付けての使用時、最後まで切断できない	ワークストップが先に台座にあたってしまう	ワークストップを調整する (P.12 参照)
バンドソー本体の過熱	モータに高負荷がかかっている	切断時に無理な力を入れないで、バンドソー本体の自重で切断するようにする
帯のこ刃が切れる	テンションが緩んでいる	テンションレバーがロック位置になっているか確認する
	刃が汚れていたり、刃こぼれや変形している	帯のこ刃を交換する (P.9 ~ 11 参照)
	帯のこ刃に無理な力がかかっている	切断時に無理な力を入れないで、バンドソー本体の自重で切断するようにする

項目	原因	対処
帯のこ刃が外れる	帯のこ刃や本体部に油や汚れが付着している	帯のこ刃や本体部に付着している油や汚れを拭き取る
	切断材料に油が付着している	切断材料の油を拭き取る
	帯のこ刃が正確に取り付けられていない	帯のこ刃の取り付け状態を点検する
	テンションが緩んでいる	テンションレバーがロック位置になっているか確認する
	プーリーベルトが摩耗している	プーリーベルトを点検し、必要に応じて交換する(P.18 参照)
	帯のこ刃に無理な力がかかっている	切断時に無理な力を入れなくて、バンドソー本体の自重で切断するようにする
	プーリーベルトと帯のこ刃の合わせ位置が浅い	下記の方法で合わせを調節する。

### プーリーベルトと帯のこ刃の合わせを調節する方法



- ①台座式で使用している場合は、サポートアームから外し、本体のみで使用できる状態にします。
- ②付属の六角棒スパナ（対辺 5 mm）を使用し、左図のネジ穴で本体内部の駆動部角度を調節します。  
駆動部角度を調節することでプーリーベルトと帯のこ刃の合わせを調節することができます。

- ③帯のこ刃が外れやすい場合は、六角棒スパナ（対辺 5 mm）を時計回りに 1/4 回転ずつ 回して調節します。（テンションレバーはロックのまま）  
1/4 回転の調節ごとに、試運転（最低速度で 2 ～ 3 周）をして帯のこ刃が外れないことを確認してください。  
六角棒スパナを回しすぎると、帯のこ刃が切れる原因やガイドローラーに負担がかかり本体の故障の原因となりますので注意してください。  
※試運転時以外は必ず電源から外して作業してください。

# アフターサービスについて

■保証に関しては別紙保証書をご参照下さい。

## ■商品に関するお問い合わせ

### — よくあるご質問 —

製品情報や使い方について困ったことなどよくあるご質問をまとめました。



URL <https://suzukid.co.jp/qa/>

上記をご覧になっても疑問が解決しない場合、右記のお客様相談室又は下記の各種お問い合わせフォームからお問い合わせください。

### — お客様相談室 —

フリーダイヤル

ヨ オ セ ツ パチ パチ



**0120-407288**

受付時間 平日9:00～12:00/13:00～17:00  
(土曜・日曜・祝祭日・年末年始を除く)

※ユーザー様専用ダイヤルとなりますので、恐れ入りますが業者様のご使用はお控えいただけますようお願いいたします。

## ■お問い合わせフォームによる各種お問い合わせ

当社製品や取扱い店舗、新規お取引希望などのお問い合わせを受け付けています。

URL <https://suzukid.co.jp/contact/>



## ■修理・故障に関するお問い合わせ

### — 修理受付・もしくはお近くの営業所まで —

#### ● 修理受付

〒315-0002 茨城石岡市柏原17-1(石岡事業所 アフターサービス課)

TEL 0299-23-6221 FAX 0299-23-6885

#### ● 本社営業所

〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢17-15  
三井住友海上藤沢ビル3F

TEL 0466-27-2666 FAX 0466-27-1055

#### ● 茨城営業所(石岡事業所)

〒315-0002 茨城県石岡市柏原17-1

TEL 0299-23-6221 FAX 0299-23-6885

#### ● 大阪営業所

〒578-0982 大阪府東大阪市吉田本町1-13-28  
COMPLAZA松本 B号室

TEL 072-963-5666 FAX 072-963-5668

#### ● 福岡営業所

〒811-1211 福岡県那珂珂川市今光5-14-1

TEL 092-953-7011 FAX 092-953-7022

## ■ SUZUKID 公式ホームページ

製品ページをはじめ、お得なキャンペーンや展示会・実演会情報・メディア情報など「SUZUKID」の最新情報を掲載しています。



URL <https://suzukid.co.jp/>

## ■ 溶接専門キュレーションサイト 溶接人 ようせつじん

ビギナーに必要な溶接知識をはじめ、溶接を生業とする方達の魅力的なインタビュー記事など様々な情報を掲載。また自慢の溶接レシビや溶接シーンの写真を投稿可能。溶接に携わる全ての方に向けた溶接専用サイトです。



URL <https://welder.co.jp/>

## ☆ 廃棄処分について

本機を廃棄処分する時は、お住まいになっている各自治体の廃棄方法に従って処分してください。

仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。